

報道機関各位

公益財団法人北九州産業学術推進機構
北九州市産業経済局

新成長戦略を推進する研究開発・製品化を支援！

～FAIS助成金の採択テーマを決定～

(公財)北九州産業学術推進機構(FAIS)と北九州市は、産学連携による技術力の強化と新事業の創出を図るため、地元企業や大学などが行う研究開発・製品化に対し、補助金を交付して支援しています。

この度、厳正なる審査を経て、次のとおり20件のテーマを採択しました。

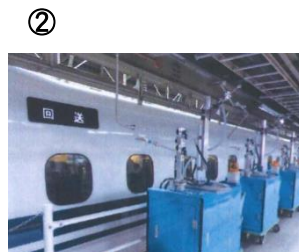
なお、今年度より「シーズ創出・実用性検証事業」に“若手・チャレンジ枠”を設け、若年研究者のみならず、学生が主体となる研究も採択しています。

1. 平成30年度の採択テーマのポイント

- 北九州市新成長戦略や特区構想の方向性に沿う分野を重点的に支援
ロボット・AI・IoT 次世代自動車 医療・介護・福祉・健康 高付加価値ものづくり
- 特徴ある研究開発テーマ
 - ・微生物殺虫剤の大量生産技術を可能とする機能性ペプチドの探索(九州工業大学)
 - ・空間改善サービス実現のための人間の表情に基づく空間分析(北九州工業高等専門学校)
 - ・微細粉塵を凝集させ集塵するバグフィルタ集塵機の研究開発(株式会社山本工作所)
 - ・マグネシウム合金粉末を用いた積層造形品の開発(株式会社戸畑製作所)

2. これまでの成果

- 支援した企業の研究開発案件のうち、約4割が製品化・実用化に成功
- 製品化・実用化した主な事例
 - ①トンネルなどのコンクリート構造物ひび割れ検出システム(計測検査株式会社)
 - ②鉄道車両業界向け車両洗浄ロボット(八祥産業株式会社)
 - ③磁力で硬さを制御できる万能ロボットハンド(前田機工株式会社)



【別紙資料】

- 別紙1 採択結果について
- 別紙2 制度概要

【お問い合わせ先】

公益財団法人北九州産業学術推進機構 (FAIS)
産学連携統括センター 産学連携部 担当：上川、吉武
TEL：093-695-3006

産業経済局 企業支援・産学連携部 新産業振興課
担当：新井、小溝 TEL：093-582-2905

平成 30 年度 FAIS助成金採択結果について

1 採択件数と補助総額

助成事業名		応募数	採択数	補助総額 (万円)
新成長戦略 推進研究開 発事業	シーズ創出・実用性検証	28	13	1,299
	実用化研究開発	8	7	3,400
合 計		36	20	4,699

2 採択テーマ一覧

(1) シーズ創出・実用性検証事業 13 件 【一般 7 件 若手 6 件】

NO.	テーマ名	申請者	新成長戦 略との関連
1 【若手】	パワーエレクトロニクス2.0対応リアルタイム寿命診断機能付きインバータの開発	九州工業大学 大学院生命体工学研究科 生体機能応用工学専攻 准教授 長谷川 一徳	Ⅱ-1 Ⅱ-3 Ⅱ-4
2 【若手】	従来のアナタース型よりも長波長の光に応答できる酸化チタン光触媒による室内空気浄化	北九州市立大学 国際環境工学部 エネルギー循環化学科 准教授 天野 史章	Ⅱ-3 Ⅱ-4
3 【若手】	空間改善サービス実現のための人間の表情に基づく空間分析	北九州工業高等専門学校 生産デザイン工学科 機械創造システムコース 准教授 滝本 隆	Ⅱ-2

4 【若手】	太陽光と空気・水から過酸化水素を in situ 合成する新規人工光合成システムの開発と実証	九州工業大学 大学院工学研究院 物質工学研究系 助教 上村 直	Ⅱ-3
5 【若手】	並列プログラミング言語 Elixir(エリクサー)における数学/AI/ML 基礎ライブラリの開発	北九州市立大学 国際環境工学部 情報メディア工学科 准教授 山崎 進	Ⅲ-3
6 【若手】	市内の休耕田で栽培した古代米を用いた、新しい古代米日本酒「とよとよ」の生産技術開発と商品化	北九州市立大学 文学部 人間関係学科 教授 竹川 大介	Ⅲ-2
7	微生物殺虫剤の大量生産技術を可能とする機能性ペプチドの探索	九州工業大学 大学院生命体工学研究科 生体機能応用工学専攻 准教授 池野 慎也	Ⅱ-3
8	遠景動画中のモヤの除去技術の研究	一般社団法人無人機研究開発機構 無人機科学技術研究所 研究員 丹 康弘	Ⅱ-4
9	地球温暖化抑制を指向した太陽光によるCO2 連続還元システムの開発	九州工業大学 大学院工学研究院 物質工学研究系 教授 横野 照尚	Ⅱ-3
10	ダイヤモンドによる次々世代超高耐圧デバイス：高耐圧化表面構造作製技術	九州工業大学 大学院工学研究院 電気電子工学研究系電子デバイス部門 助教 渡邊 晃彦	Ⅱ-3 Ⅱ-4
11	自動トマト収穫ロボット搭載用の熟れ度検出のための革新的触覚センサーと機械学習自動判別システムの開発研究	九州工業大学 大学院生命体工学研究科 人間知能システム工学専攻 教授 田中 啓文	Ⅱ-2
12	高機能複製不可能 LSI とそれをを用いた IoT 用高速・低消費エネルギー認証システムの研究	早稲田大学 大学院情報生産システム研究科 特任教授 篠原 尋史	Ⅱ-1 Ⅱ-2 Ⅱ-4
13	人との協調作業を実現するロボット搭載型無人搬送車の自律走行性能の向上	北九州工業高等専門学校 生産デザイン工学科 知能ロボットシステムコース 教授 久池井 茂	Ⅱ-1 Ⅱ-2

(2)実用性研究開発事業

全 7 件 【新規 5 件 継続 2 件】

NO	テーマ名	申請企業名	新成長戦略との関連
1	自己発電式バイオセンサを基盤とする農水産物の鮮度・品質管理 IoT システムの開発	株式会社クアンド	Ⅲ－3
2	視覚障害者や高齢者を含む交通弱者のための道案内システムの開発	株式会社コンピュータサイエンス研究所	Ⅲ－1 Ⅲ－3
3	非加熱生物材料を用いた多様なプラセンタ化粧品の開発と高安全性品質評価法の開発	株式会社 FILTOM	Ⅲ－1
4	微細粉塵を凝集させ集塵するバグフィルタ集塵機の研究開発	株式会社山本工作所	Ⅱ－3
5	自立支援に着目した「杖型立ち座り動作支援機器」の開発	株式会社芳野ケアサポート	Ⅲ－1
6 【継続】	抗酸化材料を利用した肌用の新規塗布剤・貼付剤の開発	株式会社新菱	Ⅱ－4
7 【継続】	マグネシウム合金粉末を用いた積層造形品の開発	株式会社戸畑製作所	Ⅱ－4

【参考】

新成長戦略との関連性について

一覧表中の「新成長戦略との関連」は、以下に沿って記載しています。

方向性Ⅱ 高付加価値ものづくりクラスターの形成

- 次世代自動車産業拠点の形成 Ⅱ－1
- 我が国をリードするロボット産業拠点の形成 Ⅱ－2
- 豊富な実績等を活かした環境産業拠点の形成 Ⅱ－3
- その他の主要産業（素材・部材産業、航空機等） Ⅱ－4

方向性Ⅲ 国内潜在需要に対応したサービス産業の推進

- 高齢者を中心とした健康・生活支援ビジネスの推進（医療・介護等） Ⅲ－1
- にぎわいづくりによる集客交流産業の拡充 Ⅲ－2
- サービス産業の高付加価値化の推進及び情報通信産業の集積 Ⅲ－3

(公財)北九州産業学術推進機構(FAIS) 助成制度の概要

名 称	新成長戦略推進研究開発事業	
	シーズ創出・実用性検証事業	実用化研究開発事業
内 容	北九州市新成長戦略に定める成長分野に関し、実用化を目指すシーズを見出し、その可能性を検証するための研究開発に対して補助金を交付	北九州市新成長戦略に定める成長分野において、技術の高度化・製品の実用化並びに新産業の創出を目指す研究開発に対して補助金を交付
対象者	<p>(1) 一般枠 市内大学等研究者</p> <p>(2) 若手・チャレンジ枠【若手】 上記(1)の内、以下のいずれかに該当し、斬新、独創的かつ挑戦的で将来の発展が見込まれるもの。 ア) 博士の学位取得後8年未満の研究者 イ) 39才以下の研究者 ウ) 学生が主体となる共同研究を行う研究者</p>	市内に本社もしくは事業所を有し、大学等研究機関と共同で研究開発を行う企業
期 間	単年度	最長2年度
助成額 (助成率)	100万円(1/1)	中小企業 500万円(2/3) その他 500万円(1/2)